

1. 令和5年（2023年）8月7日午後2時30分
豊中市教育委員会会議を豊中市立庄内公民館講座室に招集する。

2. 本日の出席委員等

教 育 長	岩 元	義 継
教育長職務代理者	山 野	佳世子
委 員	赤 尾	勝 己
委 員	松 本	裕 美
委 員	黒 田	久美子

3. 本日の議事日程

第1	議事録署名委員の指名について
第2	前回議事録の承認について
第3	教育長等の報告について
第4（報告第15号）	専決処分の報告について
第5（議案第34号）	令和6年度（2024年度）使用小学校用教科 用図書の採択について
第6（報告第35号）	教育長による臨時代理について

4. 本日の出席事務局職員

事務局 長	長 坂	吉 忠
教育政策 監	中 尾	栄 一
理 事	藤 原	二 郎
次長兼教育総務課長	田 上	淳 也
次長兼教職員課長	森 山	幸 雄
参 事	堤	昌 子
教育総務課長補佐	松 村	有
教職員課主幹	小 渡	豊
学校教育課長	田 中	克 嘉
学校教育課副主幹	松 野	恵 子
学校教育課教育課程係長	石 走	海 景
学校教育課主査	内 田	淳 也

5. 本日の書記

教育総務課総務係長	南	幸 太
教育総務課主査	外 園	博 人

— 議 事 —

岩元教育長

ただいまから教育委員会会議を開催いたします。

まず、本日の会議の進行について、委員の皆様にお諮りします。

会議時間の短縮のため、本日の会議の進行については、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、本日の会議の進行につきましては、議事日程の朗読や議案の朗読は省略させていただきます。

本日の会議の成立要件をご報告ください。

南書記

本日は、堀田委員がご欠席ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席されておりますので、本日の会議は有効に成立していることを報告いたします。

岩元教育長

本日の議事日程については、議案書の1ページに記載のとおりです。

赤尾委員

動議を提出いたします。日程第4の案件につきましては、人事行政の公正かつ適切な執行の確保とプライバシー保護を要する案件であることから、秘密会で審議することの動議を提出いたします。

また、このことに伴いまして、議事運営を効率的に行うため、日程第5及び日程第6の2案件の議事順序については、日程第4に先んじて行うよう、変更動議を提出いたします。

岩元教育長

ただいま、赤尾委員より日程第4の案件について、秘密会で審議すること、また、

議事運営を効率的に行うため、日程第5及び日程第6の2案件につきましては、日程第4の案件に先んじて行うよう、変更動議の提出がされました。

このことについて、ご異議はございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、日程第4の案件について秘密会で審議すること、また、議事運営を効率的に行うため、変更動議のとおり議事順序を変更することを決定いたします。

岩元教育長

それでは、秘密会に属する案件に関するものを除き、議案書等を閲覧用として傍聴人に配付をしてください。

岩元教育長

まず、日程第1・議事録署名委員の指名につきましては、今回は、黒田委員と松本委員をお願いいたします。

日程第2・前回議事録の承認につきましては、既に会議録を委員の皆様方に配付しております。また、署名委員のご署名をいただいておりますので、原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、前回の議事録の承認につきまして、原案のとおり承認することにいたします。

続きまして、第3・「教育長等の報告について」を議題といたします。

長坂事務局長

夏季休業中における活動について報告させていただきます。

市立小中学校は7月21日、庄内さくら学園については7月22日より夏休みの期間に入りましたが、この期間におけるこれまでの活動について報告いたします。

まずは、学校プール開放事業でございます。

水と親しむ機会といたしまして、通学されている各小学校のプールを会場として事業者へ委託し、市内の全小学校及び庄内さくら学園で実施いたしました。

実施日程は、各小学校を前期日程と後期日程とに区分し、土日を除き、前期日程の学校は7月24日から7月28日まで、後期日程の学校は、7月31日から8月4日までといたしました。

一部暑さ指数（WBGT）が31（危険）、いわゆる屋外で運動するのが危険とされるような数値ですが、31を超えるなど、途中で事業を中止した学校がありましたが、おおむね順調に事業を進めることができました。

なお、参加児童数につきましては、速報値となりますが、前期日程で9,200名程度となっており、昨年全期間の参加児童数は8,862名でしたことから、昨年度を超えるような状況となっております。

次に、夏季休業中の部活動についてです。

近年気候変動等により活動環境が悪化しております。豊中市では7月27日に最高気温が39.5度と、これは恐らく7月の観測史上最高を記録するなど、猛暑が続いており、特に夏季の部活動、試合等において熱中症事故が懸念されることから、活動前、活動中、終了後に小まめに水分や塩分を補給し、休憩を取るとともに、生徒への健康観察など、健康管理を徹底するなどの事故防止対策を講じることとしております。

また、熱中症予防のための運動指針等を踏まえ、各学校の熱中症計の暑さ指数が31となった場合は運動を中止して健康観察を行うよう周知しております。

岩元教育長

ただいまの報告について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

黒田委員

今年度は学校のプール開放があり、楽しいと子どもが大変喜んでいました。

事業の運営は大変であると思いますが、泳げない子どもが本当に増えているので、今後もこの事業は何とぞ続けていただきたいと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

(なしの声あり)

岩元教育長

では、ほか特にないようですので、教育長等の報告については終了することにいたします。

続きまして、日程第5・議案第34号「令和6年度（2024年度）使用小学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。

本件につきましては、4月18日の教育委員会会議における議決を経まして、豊中市学校教科用図書選定委員会に諮問をいたし、7月31日付で答申をいただきました。その答申を踏まえ、教育委員会として令和6年度使用教科用図書の採択を進めてまいります。

それでは、採択に入ります前に、諮問から答申に至るまでの経緯や、答申の概要について事務局から説明をお願いします。

藤原理事

それでは、諮問から答申までの経過等についてご説明をいたします。

議案書の8ページから24ページとなります。

教育委員会から5月1日に諮問を受け、7月31日の答申に至るまでの選定委員会での審議経過につきまして、ご報告をさせていただきます。

選定委員会においては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第10条の規定により、大阪府教育委員会からの指導、助言、援助を受けるとともに、本年4月14日付、大阪府教育委員会教育長からの令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項を踏まえ、令和6年度に使用する小学校用教科用図書の選定についての調査審議が進められました。

なお、選定委員会の委員につきましては、豊中市学校教科用図書選定委員会規則に基づき、保護者代表2名、保護者公募委員1名、小学校の校長及び教頭各2名、小学校の教諭4名、教育委員会事務局職員3名の計14名で組織されました。

5月15日には教科用図書に係る審議を行う選定委員会が開催され、委員長、副委員長の選出、調査員の人数の決定、調査員が行う調査内容の審議が行われるとともに、調査についての報告書が定められました。

報告書は、大阪府教育委員会の教科用図書選定資料を参考に、項目及び観点を定め、それぞれ「特にすぐれている」「すぐれている」「その他」の3段階で評価することとされました。

調査員につきましては、小学校の校長、教頭及び教諭並びに教育委員会事務局職員のうちから選定委員会の委員長が任命いたしました。調査員は5月22日より調査活

動を開始し、6月23日に報告書の提出がございました。

6月13日に第2回の選定委員会が開催され、答申資料の作成手順や調査委員から直接、調査結果の概要を聴取する報告会の持ち方などにつきまして審議が行われました。

7月3日に行われました第3回及び7月6日に行われました第4回の選定委員会につきましては、調査員の報告会として開催され、調査に関わる概要、見本本に対する評価に関わる説明、さらに総合的に見て豊中の児童にとってより適切と思われる教科用図書などの点につきまして報告が行われました。

第5回、第6回の選定委員会におきましては、それぞれ7月18日及び7月26日に開催され、調査員の報告書の集計や報告会での意見をもとに、また、各学校並びに豊中市立小中学校教育研究会からの所見なども参考にして、答申作成のための審議が行われ、7月31日付の答申となった次第でございます。

答申作成に関わる審議といたしましては、原則として7つの観点を定め、審議を進める中で、豊中の児童にとって、より適切と思われる点について発行者ごとに評価が行われました。

7つの観点とは、1つめが学習指導要領の目標達成のために内容が適切か、2つめは人権的な配慮があるか、3つめは豊中の子どもたちの実態に合わせて効果的に指導が行えるような内容であるか、4つめは学習指導が有効に進められるよう、適切に配列がなされているか、5つめは児童の興味・関心を引き出し、探究心を育てるよう、主体的に学ぶことができる工夫があるか、6つめは補充的な学習・発展的な学習についての視点があるか、そして、7つめとしまして学習指導を効果的に進められるよう、適切な分量になっているかを設定し、審議が進められました。

次に、選定委員会における審議の結果及び答申の内容につきまして、ご説明させていただきます。

選定委員会として、先ほど申し上げました観点からの審議に基づき、全ての発行者について、特にすぐれていると思われる点などをまとめ、総合所見として掲載されております。

また、各発行者の評価を踏まえ、総合的に検討された結果、特に高く評価されたものに二重丸（◎）、次いで評価されたものに丸（○）がつけられております。

なお、教科書センターの法定展示は、6月14日から6月30日まで開催され、6月5日から7月6日までの法定外の展示期間も含めると、来場者数は142名でございました。

来場者からいただきましたアンケートにつきましては、あらかじめ教育長及び教育

委員会委員の皆様にご覧させていただいております。

以上、諮問から答申に至るまでの経緯及び答申の概要等につきまして、ご説明を終わらせていただきます。

岩元教育長

ただいまの説明について何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(なしの声あり)

岩元教育長

それでは、種目ごとに教科用図書採択に入りたいと思いますが、まず、それぞれの種目ごとに答申の概要を事務局より説明をいただき、1種目ごとに採択していきたいと思っております。

では、初めに「国語」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の10ページ及び25ページ、26ページを御覧ください。

国語は3者ございます。

国語における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことについて」、発達段階の考慮としまして、「漢字や入門期の文字を含む語彙を段階的に獲得し、活用することについて」、学び方の工夫としまして、「活動場面の設定や多様な学習活動の組み合わせについて」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「東書」がより高く評価され、次いで「光村」が評価されました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見はございますでしょうか。

赤尾委員

私は「東書」が一番よいと思えました。デジタルノートで、非常につくり方がよく、様子を想像して音読するなど、あるいは付録にデジタル資料を活用していたりしており、充実していたように思います。

「教出」もよかったです。例えば図書館の本を探そうということで、日本十進分類法を意識し、将来的に子どもたちが公共図書館の利用者となるように作成されていると思っていますが、私としては「東書」がいいのではないかと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「東書」が一番すぐれていると思いました。主に6年生の教科書を見ましたが、論理的思考と、他者に対する配慮をバランスよく掲載されていると思いましたし、あと言葉の力、何をどう学んでいくのか、伝えていくのか、どう表現するのかを大変分かりやすくコンパクトにまとめられていると思いました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

3者のどの教科書も工夫され、見通しを持って学習に取り組めるように作成されていると思いました。

その中で、私も「東書」が一番ふさわしいと思っております。

理由は考えの共有や、協働的な学習ができるというあたりで、学びにつながるような配慮が一番多かったように思います。

「教出」も読書習慣の充実は非常に図られて、大変子どもたちの興味、興味につながる内容がふんだんに盛り込まれていると感じましたし、「光村」に関しましても、言葉の感覚というか、言語活動について、豊かにするような文章の構成や、段階的に学習できる工夫がされていますが、バランス的に「東書」がよいと思っております。

岩元教育長

私も「東書」、もしくは「光村」で、どちらかというところ「光村」のほうがいいのではないかと感じたところです。

例えば季節の言葉が学年ごとに取り上げられているとか、日本の伝統的なものなどへの言葉の面からのアプローチもしっかりなされていると思いました。

また、振り返りのところで、チェックするような欄もあったり、また、各学年の冊

子の冒頭には、それぞれ1年生は「かざぐるま」、4年生は「はばたき」というような、短いタイトルがつけられています。それに関わっての短い詩のような文章や、イラストがあったり、これから学習に入っていくにあたり、わくわく感が得られるようなところがあるのではないかと思います。

(なしの声あり)

岩元教育長

皆様のご意見を総合的に見ますと、今回の選定委員会の答申で二重丸(◎)をつけていただいている「東書」が最も適切であると思われますので、「東書」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、国語につきましては「東書」を採択したいと思います。

続きまして、「書写」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の11ページ及び26ページ、27ページを御覧ください。

書写は3者ございます。

書写における選定の項目・観点でございますが、目標・内容の取扱いとしましては、「毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう取り扱われているか」、発達段階の考慮としまして、「実際の日常生活や学習活動に役立つ各活動の充実について」、組織・配列としまして、「単元構成について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「東書」、「光村」がより高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

3者のうち、二重丸(◎)が2つについている答申をいただいておりますが、「書写」についてご意見等ございますか。

松本委員

「東書」「光村」どちらか随分迷いましたが、「東書」は1年生の書く姿勢が、本人の視点から書かれているという点が大変子どもにとって分かりやすいと思いました。

ただ、「光村」の猫を使った独特の書き方や、子どもに分かりやすいところと、毛筆が始まった3年生では、強さを猫が示しているようなイラストを見て、子どもたちが理解できるような工夫がされていると感じました。6年生の「書写ブック」のページで、6年間のまとめが大変うまくできていると思い、それぞれメリット・デメリットはありますが、子どもたちの視点から見て、「光村」が親しみやすいような気がしました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

「東書」「光村」のどちらも書き方の表現が大変工夫されており、分かりやすいと思いました。一番よかったと思ったのは「光村」の動物で字の形を表現していたところです。四角だったらライオン、横だったらワニ、縦長だったらウサギというふうに、字のバランスのイメージがつきやすくいいと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

私も「東書」と「光村」を見て、ほぼ大差はないと思いました。どちらかと言われたときに、「東書」は右手、左手、両方の利き手の姿勢、まとめた姿勢を書いている。「光村」は子どもたちにとって分かりやすい猫の動作や、擬態語、擬音語など、イメージしやすいことが多かったと思っておりまして、「光村」のほうが子どもたちにとっては、分かりやすいのではないかと感じております。

岩元教育長

私も「光村」「東書」で、どちらもいいところはありますが、「光村」のほうがより子どもにとって親しみやすくなっているのではないかと感じました。

岩元教育長

これまでの意見を総合的に見ますと、「書写」につきましては「光村」がより適切であると思われますので、「光村」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「書写」につきましては「光村」を採択いたします。
続きまして、「社会」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の11ページ、12ページ及び27ページ、28ページをご覧ください。
社会は3者ございます。

社会における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「社会生活についての理解や情報を調べまとめる技能について」、組織・配列の取扱いとしまして、「単元構成について」、学び方の工夫としまして、「知識・技能を活用した問題解決的な学習展開について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「日文」がより高く評価され、次いで「教出」が高く評価されました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご意見、ご質問等ございますでしょうか。

赤尾委員

私はこの3者の中で、最初に外れるのは「東書」であると思います。「東書」はドラえもんをナビゲーターにしていますが、ドラえもんはあまり教育的にいいとは思っていません。

その上で、「教出」と「日文」となるのですが、「日文」については、少し気になるのは4年生の教科書の冒頭に、47都道府県の位置を書き入れるページがあるのですが、これは非常に使いづらいという感じがします。

「教出」のほうは、SDGsとつなげて考えようとしていることや、人権のところがしっかり書かれてあるように思いました。

「教出」と「日文」について、実は私は多文化共生という観点から見てきましたが、

甲乙つけがたいというのが本当の思いであります。

この種目は、ほかの委員の皆様方のご意見に従うことにしたいと思えます。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「教出」「日文」どちらかと考えて見ていましたが、「日文」のほうがいいと思えました。

その理由は、近畿地方の内容がかなり多く入っていて、豊中の子どもたちが学ぶに当たり、身近なところから入っていけるような気がしました。

それに、単元ごとにSDGsへのつながりがまとめられていて、これから地球環境をどう考えていくのかという、今の時代ならではの思考回路で、子どもたちになじみやすくなっていると思えました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も「教出」と「日文」のどちらかで考えていましたが、「日文」の場合は、1時間ごとに教えやすくまとまっており、先生たちの立場に立っていると感じました。

子どもの立場から言いますと、例えば買い物のページなどを見ていましたが、皆さんの意見の集約の仕方や意見をどう整理していくのかということも具体的で分かりやすいと感じました。

原発事故の話が「日文」には全然載っていないということが言われており、何かフォローできればいいとは思いますが、「日文」は子ども立場からは読みやすいと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

私も「教出」「日文」を見て思っていたのですが、学習指導要領の目標に向かって

どちらも分かりやすい流れとなるよう工夫されているとか、問題解決的な学習も多く教科書の中に記載されていたと思います。

「教出」はやはり人権課題やSDGsをはじめ、様々な人権課題が多く入っていたように思います。私も原発などの記載が「日文」にはないと思ったのですが、ただ、子どもたちが学んでいく上で、発達段階において例えば文字の大きさであったり、文章の量であったり、資料の配置など、身近な地域、近畿地方の内容が非常に多く、豊中の子どもたちにとっては親しみやすいと思いましたので、最終的には「日文」がいいと思っております。

岩元教育長

私は少し意見が違いまして、「東書」が一番よかったのではないかと感じていて、写真、文章、イラスト、構成、レイアウト、全ての面で非常にバランスが取れていると感じました。

また5、6年生は、5巻は上下巻ですし、6年生は歴史編と政治国際編ということで、分冊になっており、取扱いしやすく、軽いというようなメリットもあると感じました。

「教出」については、横浜市の方が少し取り上げられていて、職員のインタビューの記事が載せられています。市役所の方の話が余りにも多く出ていまして、少し出過ぎではないかという印象を受けました、もう少し編集上の工夫が何かなかったのかと感じたところです。

「日文」については、割に身近な近畿地方のことを取り上げられているということで、子どもたちになじみやすいというメリットがあるのではないかと思いますし、また、6年生の歴史のところ、磯田道史先生の手紙で、テレビによく出ておられる方のコメントの記載があったりしまして、子どもたちは身近に感じられるのではないかと感じたところです。

岩元教育長

皆様のご意見を総合的に見ますと「日文」がより適切であると思いますので、「日文」を採択することで、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

では、社会につきましては「日文」を採択いたします。

続きましては、「地図」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の12ページ及び29ページをご覧ください。

地図は2者ございます。

地図における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「基本となる地図に関連した資料について」、組織・配列としまして、「図版等の工夫について」、学びの工夫としまして、「児童の関心・興味を高める工夫について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「帝国」がより高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

赤尾委員

私はやはり「帝国」がいいと思いました。

近畿の部分を見ても、見やすさという点では「帝国」のほうが「東書」よりも一段上手をいっているという感じです。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も「帝国」がいいと思います。大変情報量も多いです。「帝国」「東書」両方楽しく読ませていただきましたが、大変多くの情報量なのに見やすいと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「帝国」がいいと思いました。まず導入で近畿地方の詳細な地図が出ていて、

子どもたちが身近なところの地図を見て、そこから日本全国、世界に広がっていくという視点を育みやすいと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

どちらも工夫されていて、イラストもいろいろ子どもたちが興味を引くような、私たちの時代にはなかったような地図であると感心していましたが、どちらかというところ「帝国」のほうが統計データは多く、テーマごとであるとか、活用する幅が多いと思ったと同時に、あとはやはり近畿、京阪神の内容が多く、豊中の子どもにとって親しみやすいと思いました。

岩元教育長

私も「帝国」「東書」どちらもいいと思いますが、「帝国」のほうが、各委員が今おっしゃっていただいた様々なご意見と同じように感じましたし、また、QRコード、それぞれのページから入っていったときのサイトのコンテンツの豊富さ、これは教科書と直接関係のないことで評価につながるのではないですが、例えばそれぞれの都道府県の交通や、農作物の様子、どのような工業があるのかといったネット上のコンテンツが非常に幅広いということで、いろいろな学びの広がりができる、そのような教科書とQRコードだったのではないのかと感じたところです。私も「帝国」を推したいと思います。

岩元教育長

意見が一致をしておりますので、地図につきましては「帝国」がより適切であると思われまますので、「帝国」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、地図につきましては「帝国」を採択いたします。
続きまして、「算数」についての説明をお願いします。

藤原理事

議案書の12ページ、13ページ及び29ページから31ページをご覧ください。

算数は6者ございます。

算数における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「見通しを持ち、筋道立てて考察する力、基礎的・基本的な内容から総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を表す力について」、発達段階の考慮としまして、「具体物の操作、日常の事象の観察など、具体的な体験を伴う学習について」、学び方の工夫としまして、「数学的に問題発見・解決する過程について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「学図」と「日文」がより高く評価され、次いで「教出」が高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご意見、ご質問はございますでしょうか。

赤尾委員

私はかなり迷っております。

まず、「学図」は、非常に見やすい。「はてな(?)を発見」や、キャラクターを使いながら、子どもたちが算数に親しみを持って学べるようにしているという点がいいです。

もう一つは「日文」です。作品が非常に充実していると感じました。ページ数はやや多いので、しおりが中に入っているところもいいと思いました。

「学図」「日文」のどちらかといわれると甲乙つけがたいです。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「学図」「日文」「教出」で大変迷うところで、「教出」は、はてな(?)などの思考経路がはっきり分かるようになっている。「日文」についても、どのような問題なのか考えよう、学びを振り返ろうという考え方の順序がはっきり書かれている。

ただ、一つ私が気になったのが、6年生から中学生へ算数から数学の橋渡しというところで、「日文」は少し物足りなさを感じました。

「学図」の場合は分冊で中学への架け橋というところがありましたし、「教出」は目次で中学へのつながりが分かるように工夫されているということもありましたが、「日文」は少しそのあたりが物足りない感じがして、迷うところの一つですが、少しまだ決めかねているところです。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

迷ってしまいますが、やはり初期の分冊や、幼稚園、保育所の就学前から小学校で初めて算数に触れる子どもたちへの工夫がどの教科書もあったり、中学への接続も多い少ないはあったとしても、どの教科書にもあって、個々に応じた学習が幅広くできるように、例えば中学校に入ったら少人数授業などになって、現場では習熟度的にゆっくりコースと、ノーマルコースのように分けている学校が多くあり、その中で子どもたちも自分のペースに合わせて勉強したりできるような授業形態もありますし、そのような面でどの教科書も甲乙つけがたいのですが、「日文」が個々に応じた学習はできやすいのではないかという印象は持ちました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も本当に算数は難しいと思っています。どれも見やすい工夫や、過去と違う教え方を工夫されているとは思いますが、「日文」のいいところは、やはり最後に3段階で自分に合わせてチャレンジして、もう1個チャレンジする問題などの工夫がされていると思いました。

岩元教育長

私も算数については、どの教科書も甲乙つけがたいと感じましたが、その中でもややリードしているのは「日文」であると感じたところです。全体的に分かりやすいということと、教科書の中で様々な遊びの要素を盛り込んだ導入部分が結構使われていて、5年生は、7つの橋を渡るという課題に対して、「同じ橋を2回渡らずに全部の橋を渡りましょう」という課題や、正多角形の導入のところでは、六角返しとい

う折り紙みたいなものを導入で使われているとか、また、6年生の最後には算数のテーマパークというようなところがあって、算数の楽しさを子どもたちに伝える工夫がなされているところが、「日文」のいいところではないかと感じているところです。

「学図」もよかったです、先ほどキャラクターのモンスターと学び方の話がありましたが、これがいろいろなモンスターがあって、算数の問題を考えるときにどのモンスターを使うかというようなアプローチをされている。それはそれで一つの工夫で、子どもたちに親しみやすさを持ってもらって学びに入っていくという面でのメリットがあるとは思いますが、余りにもモンスターが出過ぎていて、モンスター探しが目的になってしまうような印象も受けましたので、工夫としては評価できる部分もあるのですが、どちらかというところ「日文」のほうがいいのではないかと感じたところです。

岩元教育長

ご意見が結構割れましたが、総合的に見ますと、「算数」については「日文」がより適切であると思われますので、「日文」を採択するというご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「算数」につきましては「日文」を採択いたします
続きまして、「理科」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の14ページ及び31ページ、32ページをご覧ください。

理科は5者ございます。

理科における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「観察、実験などを行い問題解決の力を養うことについて」、発達段階の考慮としまして、「写真、挿絵、図、表などの資料について」、学び方の工夫としまして、「日常生活や社会との関連について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「啓林館」がより高く評価され、次いで「東書」、「大日本」がより高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

赤尾委員

私は、「東書」「大日本」「啓林館」の3者がすぐれていると思いました。

特に、科学的な思考法が開かれた内容になっているかどうかといった観点で3者を見てみました。

「東書」は、まず理科の学び方、問題をつかむ、調べる、まとめるということに沿って、上から下に学びの順序が示されていました。

「大日本」は、見つけよう、調べよう、伝えようという3つの段階に、更にまた2つ、そこに細分化された問題を見つけよう、予想しよう、計画を立てよう、調べようという形で考えよう、そしてまとめようという形で一連のこの学びの順序を書かれています。

そのような中で、私は一番見やすかったのは「啓林館」であると思います。「啓林館」は見つける、調べる、まとめるに沿って、9つの要素を図にしています。この図は非常に見やすかったということで、3者大差はないですが、「啓林館」を推したいと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

どれも大変きれいで、昔の教科書と比べて本当に見やすいと感じていますが、私はやはり「啓林館」が一番いいと思っております。QRコードもいろいろついていますが、各場面にあって、動画などが大変分かりやすいですね。動物の動き方だったり、その動画にも字幕がついていたり、クイズなどの工夫もよく、図鑑を見ているような感じというか、わくわくする教科書でした。

少し思っていることは、一番前にQRコードがついていて、クリックすると同意書になっている。子どもにはこれは難しいとは思いますが、あとはすごくいいテキストであると感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

本当に視覚的にも分かりやすく、写真も資料も豊富でわくわくするような箇所ばかりですが、「東書」がよかった点は、人権の配慮が一番よく出ているとか、観察と実験と結果が別のページになっているというような工夫があって面白いと思いました。

「大日本」はサイエンスワードや、子どもの興味・関心を引くようなコーナーがあるとか、防災のことは日本ではいろいろ課題もあるとは思いますが、このことや人権のこともよく出ていると思います。

ほかの委員もおっしゃっていたように、問題解決の流れや一個一個段階の流れが一番分かりやすかったのは「啓林館」であると思いました。身近な題材も多かったし、そのような面で子どもたちが親しみやすく、また興味・関心を持って、どうすればロジカルに物事を考えるかというようなことがうまく分かりやすい形で示してあったと思っています。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「東書」と「啓林館」で大変迷いました。「東書」のほうで巻末に実験の用具の使い方がまとめてあって、実験のときの危険のマークもページの中で、大変分かりやすいところはあったのですが、考え方の流れがやはり「啓林館」のほうで分かりやすいというところもあり、本当にそれぞれ工夫されてつくっておられるということは思いつつ、どちらかというところ「啓林館」ではないかと感じています。

岩元教育長

私も「東書」と「啓林館」で拮抗しています。「東書」「大日本」はA4版で、「啓林館」は少し小さいB版なので、それだけで決められるというものではありませんが、より小さく軽く扱いやすい教科書を採択すればいいのではないかというような思いも少し持っています。

「啓林館」は、内容面でも写真で引きつける、子どもたちの興味・関心を写真に引きつけるというところでの写真の使い方や、タブレット活用を念頭に置いたような構成も少し特色が見られると感じていますし、各単元の最後には、日常生活と学んだこととをしっかりリンクさせるというふうなところも大変よかったと感じました。

岩元教育長

いろいろご意見いただきましたけれども、理科につきましては「啓林館」がより適切であると思われますので、「啓林館」を採択するということでご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「理科」につきましては「啓林館」を採択いたします。
続きまして、「生活」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の15ページ、16ページ及び33ページ、34ページをご覧ください。
生活は6者ございます。

生活における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「自分自身や自分の生活について考え、表現することについて」、組織・配列としまして、「単元構成について」、学び方の工夫としまして、「自然の不思議さや面白さを実感する学習活動について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「東書」がより高く評価され、次いで「学図」、「光村」が高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

赤尾委員

私は少し違った見方で「教出」を評価しました。

もともとの「生活」は小学1・2年生の低学年で理科と社会科の内容であったものですが、なかなか教えるにくいということで、もう少し子どもたちの自然体験や、社会体験など、そのようなものを基にしながら、道徳的な要素を入れていくところから始まったものです。

そのような意味で、「教出」は非常にQRコードが使いやすいということ、それに面白かったのは、自然認識や社会認識だけではなく、要するに自然探検、社会探検以

外に自分探検という部分を入れて、学んだことを省察していくというような部分を入れていますが、これが「東書」にはないのです。私は、やはり「東書」よりも「教出」のほうが良いと思いました。

特に面白いのはマインドマップを基にして、自分を中心にしながら、そこで様々な体験というものをビジュアルに見えるようにしていくという配慮ができていたというところがよかったですと思います。少し答申とは違いますが、「教出」を推したいと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

1年生が教科書を初めて使うということで興味を持ってもらうという意味で、私はヨシタケシンスケさんの絵が使われている「光村」は読んでいても楽しいと感じました。「東書」はバランスという点は大変よく、教えていても教えやすいのだろうと感じています。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「東書」と「光村」で迷っておりまして、「光村」のイラストは引かれるものがありますが、ただ1年生の最初に、これから学校が始まるというときのインパクトというか、わくわく感というか、それが「東書」のほうが子どもたちの気持ちをそのまま感じ取っているという生き生き感が伝わってきて、迷いながらも、どちらかという「東書」なのかと感じております。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員。

3年生の理解のつなぎというところでは少し考えたりするところはある、迷う要素が多いのですが、最初のスタートのところやはり「東書」は引きつけるものがある

と思いましたが。子どもたちが初めて触れることにわくわくしそうな導入が上手につくられていると思います。

岩元教育長

私も「東書」と「光村」で拮抗していると思ひまして、「東書」は全体にやはり見やすく、レイアウトまでしっかりしており、多分教えるほうも教えやすいのだろうという感じはしています。「光村」は、イラストや文字、全体の雰囲気は何とも言えない味わいがある、低学年の子どもたちにとっては、いい教科書ではないかと感じたところでもあります。

岩元教育長

意見が少し割れていますけども、ご意見を総合しますと、「生活」につきましては「東書」がより適切ではないかと思ひますので、「東書」を採択するというごことでご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「生活」については「東書」を採択いたします。

続きまして、「音楽」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の16ページ及び34ページ、35ページをご覧ください。

音楽は2者ございます。

音楽における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことについて」、組織・配列としまして、「単元配列について」、学び方の工夫としまして、「表現及び鑑賞領域において思考、判断し、表現する一連の過程について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「教芸」がより高く評価され、次いで「教出」がより高く評価されました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

赤尾委員

私は答申どおり「教芸」を推したいと思います。

理由は、まず、非常にタブレットで曲をつくるとか、あるいはボイスアンサンブル、ボイスパーカッションという新しい音楽の楽しみ方が出ているという点が大変いいと思います。表紙も「教出」に比べますと「教芸」のほうが雑然とはしていますが、いわゆる多文化に開かれたものになっており、子どもたちが楽しそうにやっているという雰囲気でもよかったように思います。

あと指揮者の山田和樹さんの「音楽は人間の命の一部」というメッセージを載せているということも非常によかったと思いました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も「教芸」がいいと思っております。

どちらも体を動かしたりして楽しむなど、感じる音楽をされていて、見ていてわくわくしたし、子どもたちがそれをやっている姿も想像できる内容だったのですが、やはり和音をつくってみたり、簡単に操作できるような、本当にタブレットで音楽を感じるということを工夫されていて、本当に現代のアーティストもタブレット、パソコンなどでも、機械で音楽をつくり出すし、小学生でも時間中に音楽が作れるのではないかという可能性を感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

ほかの委員がおっしゃられたこと以外にも、私も「教芸」のほうがいいと思いましたが、付け加えると、和楽器に関する言及もかなり多いので、日本の楽器ということも子どもたちがより興味を持つ導入になるのではないかと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員。

私も「教芸」がいいと思っております。音楽づくりや、体を使うなど、いろいろ幅が広がるというか、クラシック的な楽器の紹介など、少し幅広い音楽の授業になるのだらうと思うことと、音楽の知的財産についての記載があったところです。そのあたりの感覚というか、知的財産についての文化を尊重するという立場も特集をつくられているというところで、大変評価しています。

岩元教育長

私もほかの方々と全く同じ意見で、「教芸」を推したいと思います。

岩元教育長

全会一致ということで、音楽につきましては「教芸」がより最適と思われるので、「教芸」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「音楽」につきましては「教芸」を採択いたします。

続きまして、「図画工作」について説明をお願いします。

藤原理事

それでは、議案書の17ページ及び35ページ、36ページをご覧ください。

図画工作は2者ございます。

図画工作における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「創造的に発想や構想したり、自分の見方や感じ方を広げたりすることについて」、組織・配列としまして、「単元配列について」、学びの工夫としまして、「個性を生かした学習活動について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「日文」がより高く評価されました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

赤尾委員

私も「日文」を推したいと思います。

単に絵を描くとか、鑑賞するだけではなく、他の領域の広がりをおの「日文」は持っています。触覚や聴覚に広がったり、広い意味での芸術、アートのように、また図工と称しながら音を聞いたり、非常に革新的なアプローチを取っているというところが非常によかったと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も両者とも楽しそうと思って迷いましたが、「日文」のほうが作品を360度見られるという工夫がなされており、子どもたちがわくわくして楽しいだろうと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員。

どちらの教科書もタブレットなどをうまく使えるような工夫がしてありますが、「日文」のほうがアニメの作成や、もう少し進んだ学習、協働的な学習がやりやすそうと感じました。

松本委員

皆さんの意見と同じですが、一つ付け加えると、「日文」のほうが安全配慮について、いろいろな用具を使うときに、気をつける点が分かりやすく書かれていたので、小さなけがの防止にもつながるのではないかと思います。

岩元教育長

私はどちらかというところ「開隆堂」のほうがよかったと思っていますが、全体のつくりが丁寧で、目当てなどもしっかりと分かりやすく書かれており、先ほどタブレットでアニメーションづくりというような話もありましたが、しっかり教科書の中でその

ようなところについても手法が取り上げられているという点はいいと思いました。

「日文」も先ほど話が出ていましたが、巻末の材料と用具の引き出しというページで、安全面に配慮した用具の使い方などについて、しっかりまとめられているので、大変いい教科書であると感じました。

岩元教育長

総合いたしますと「図画工作」につきましては「日文」がより適切であるのではないかと思いますので、「日文」を採択することでご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、図画工作については「日文」を採択します。

続きまして、「家庭」につきまして説明をお願いします。

藤原理事

議案書の17ページ及び36ページをご覧ください。

家庭は2者ございます。

家庭における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「日常生活の中から問題を見出して課題を解決する力について」、発達段階の考慮としまして、「文章の記述や分量について」、学び方の工夫としまして、「生活体験と関連づけた問題解決的な学習について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「開隆堂」がより高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

赤尾委員

私も「開隆堂」を推したいと思います。「東書」のほうは、全体説明が丁寧ですが、文字が多いと感じています。

「開隆堂」のほうは、やはり組みやすさという点において、「東書」よりも優れているのではないかと、SDGsを意識しており、非常にいいと思いました。2者とも男女共同参画、多文化に開かれているという点では差はありませんが、「開隆堂」を推

したいと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「開隆堂」のほうが多体的に分かりやすいと思ひました。特に、巻頭のところで家庭科の位置づけや、生活の中でどのように家庭科が関わってきているのかというようにことがわかりやすく書かれており、調理の流れもわかりやすいし豆知識も面白く読めると思ひました。今は炊飯器のボタンだけで炊けるのですが、御飯の炊き方についても、少し興味が出てきそうな、根本的な生活の知恵が入っていると感じています。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も「開隆堂」がいいと思ひます。

大変見やすく、あとは、親としてはお金の使い方の記載など、まとまりもすごくよかったです。豆知識について、面白く読ませていただきました。

山野委員。

どちらも本当に工夫されていて、わかりやすくつくられています、
「開隆堂」の方が見やすいと思ひました。

あと人権的な配慮にしても、日本の伝統のことについても、例えば左利き、右利きの児童の手の写真にしても、どちらの教科書も工夫されていますが、最終的に見やすいのは「開隆堂」でした。

岩元教育長

私も同じ意見です。

あとは今おっしゃられたように、少し「東書」のほうは情報を詰め込んでいる感がありまして、その点「開隆堂」のほうは非常に構成もレイアウトもすっきりして見やすさという点で明らかに差があると感しました。

また、いろいろな職業の方の話聞くキャリアインタビューというページもあって

非常に充実していると感じましたし、ページ右端にインデックスがあって、食生活、衣食住、消費、環境というところにもすぐにアプローチできるようなレイアウト上の工夫もしっかりされており、非常にいいと感じました。

岩元教育長

「家庭」につきましては「開隆堂」がより適切であると思われますので、「開隆堂」を採択することに、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「家庭」につきましては「開隆堂」を採択いたします。

続きまして、「保健」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の18ページ、19ページ及び37ページから39ページをご覧ください。

保健は6者ございます。

保健における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることについて」、発達段階の考慮としまして、「文章の記述や分量について」、学び方の工夫としまして、「具体的な体験を伴う活動について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「東書」がより高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

黒田委員

私は「東書」と「学研」がいいと感じて読んでいました。やはり今の子どもたちのこの頃は、心の問題も体の問題と同時に難しくなってくるときですので、心のことも大変読みやすく書いてあったりというところに引かれました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

赤尾委員

私は「東書」がいいと思いました。この教科書の使い方が最初に書かれており、4つのステップがあります。「気づく・見つける」、「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」といった4つのステップを通して系統立てて、この教科書が書かれていると思いました。

表紙を見て思ったことは、ある学年ですが、女子と男子は中央に並んで、さらに人種には配慮されている。そして、障害を有する子どもたちもその中には出ているということで、まさにジェンダー、人種、ディスアビリティ、障害といったところにきちんと配慮がなされているという点がいいと思いました。

さらに、薬のオーバードーズについても触れておりました。そのような点から「東書」を推したいと思います。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も全体的に「東書」が分かりやすいと感じました。日常生活についても円グラフで対比して、こういう生活だったら元気だけど、こういう生活だったら学校でぼーっとしてしまうというような状況が、子どもが見ても大変分かりやすいという点と、学習の進め方が4段階で分かりやすく説明されており、子どもたちも吸収しやすいと感じました。

さらに、心の成長という点について具体的な例示を挙げて書いているところが、子どもたちの気づきにもつながっていくと思いましたので、全体的に分かりやすい「東書」がいいと感じています。

ただ、「大日本」のほうにあった自動車の死角という、安全のところの注意書きがなかったことは残念でした。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員

私は「東書」と「学研」で悩んでいました。どの教科書も人権配慮、ジェンダー、

ユニバーサルデザインなどは工夫されていると思いますが、何が決め手になったのかというと、進め方ももちろんですが、「東書」は保護者へのメッセージがあり、保護者の方も一緒に、心の問題、体の問題を考えてもらうというときに、家庭との連携にアプローチしているのがいいと思いました。

「学研」のほうは、いじめに関する内容がありますが、一番子どもたちにとって身近な話でもあることと、最新の資料や写真が結構多く、取り上げやすく、興味関心や親しみなどを子どもたちが持っていけると思っています。

岩元教育長

私は「東書」が一番いいと思ひまして、考えを記入する欄が大きく、いろいろな形で主体的に学ぶための工夫がされていると感じました。

もう一ついいと思ったのは、〇はついていませんが、「光文」は、スマートフォンの使い方、生活リズム、ネット上のトラブルのことが、結構充実して書かれているという点が、現在の子どもたちの状況を見たときの課題にしっかり向き合っていると感じました。

「学研」のほうもなかなかいいと思ひまして、「東書」と同様に考えを書かせる部分も多く設定していますし、また、ネットの使うときの安全についてもしっかり取り上げられていると思いますが、私はトータル的に見ると「東書」が一番よかったのではないかと感じました。

岩元教育長

皆様のご意見を総合いたしますと、「保健」につきましては「東書」がより適切であると思われまますので、「東書」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「保健」につきましては「東書」を採択いたします。

続きまして、「英語」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の19ページ、20ページ及び39ページから41ページをご覧ください。

英語は6者ございます。

英語における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「言語や文化に対する理解や、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能について」、発達段階の考慮としまして、「新出言語材料の分量や提示の仕方について」、組織・配列としまして、「聞くこと、話すことを中心に読むこと、書くことに取り組むなど、児童の意欲を高める構成について」などを定め、審議が行われました。

総合的な審議の結果、「東書」がより高く評価され、次いで「教出」が評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

赤尾委員

私も「東書」が一番よかったように思いました。「Sounds and Letters」や、左利きの子どもにも配慮がなされているとか、何よりも多文化共生という観点からです。英語だけではなく、それ以外の43か国に及ぶ言語が出ているとか、さらに、国際化として、アイヌ文化への言及がなされていたということで、人権にも十分に配慮された教科書ではないか思いました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

大変迷いましたが、例えば「三省堂」「啓林館」は、観光のことなどが楽しく記載されております。また、「光村」は発音などが細かく、速さが変えられたりしており学びやすいと思いましたが、今のところは、「東書」「教出」がいいと思っていて、「教出」はシールがあって楽しく、見やすかったり、実践的で日本の有名なものや、地域のものなどが記載されており、実際に海外の方が来られたときの案内で使いやすいただろうと感じたりもしました。「教出」もすごく見やすいと感じています。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

松本委員

私も「東書」が一番見やすいかなと思いました。「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」と順番にどのように進んでいくのか、ページの上の記載で分かりやすかったです。

「教出」は、手話の記載があっていいのですが、ただ、全体的なところ「東書」のほうが分かりやすくいいと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員。

どの教科書も工夫されているし、使っていても楽しいと思いますが、「Dictionary」の有無という点が一つのポイントになっていて、子どもたちにとって中学へのつなぎを考えると、ある程度あったほうがいいと思いました。

iPadを使うにあたり、いろいろQRコードの記載があり工夫もされているし、発音もネイティブの発音がいつもいつでも家に帰って聞けるとするのはすばらしいと思っています。

非常に迷いましたが、「東書」が一番バランスがよかったということが私の決め手になりました。

岩元教育長

私は「東書」と「光村」がいいと思いました、

「光村」は、QRコードから入ったところの動画で、先ほど速さを変えられるというご意見がありましたが、コンテンツが最も充実していると思います。「東書」もですが、教科書に英文が余り書いていないのです。イラストがあって、聞く英語はタブレット、もしくはデジタル教科書で、その聞いたものと教科書とセットになって学んでいくという構成になって、昔みたいにまず単語を覚えるというよりは、習うより慣れるみたいところが重視されており、それはそれでやはり小学校に英語が教科化されて、より小さいうちからネイティブの英語に触れる機会がどんどん増えてきたということはいいい傾向であると思っています。

岩元教育長

皆様のご意見をお伺いしていますと、「英語」につきましては「東書」がより適切であると考えられますので、「東書」を採択することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「英語」については「東書」を採択いたします。

続いて、「道徳」について説明をお願いします。

藤原理事

議案書の20ページ、21ページ及び41ページから43ページをご覧ください。
道徳は6者ございます。

道徳における選定の項目・観点ですが、目標・内容の取扱いとしましては、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることについて」、発達段階の考慮としまして、「身近な課題を自分との関係において考え、その解決に寄与しようとする意欲や態度を育むことについて」、学び方の工夫としまして、「自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることについて」などを定め審議が行われました。

総合的な審議の結果、「光文」がより高く評価され、次いで「東書」、「日文」が高く評価をされました。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見ございますでしょうか。

松本委員

私は「光文」が一番いいと感じています。

最初にその考え方を整理し、まとめる方法について、学年ごとに図で分かりやすく説明している。どうしても考え方というものには癖があって、同じような考え方をしがちですが、違う考え方があるという気づきになると思ったのが、まず一点です。

次に、へこんでも立ち直るということは各学年であるのですが、立ち直るということは生きていく上でも絶対必要なことであると思うので、具体的に毎年学んでいける

ということは子どもたちにとって大事なことと考えていますので、「光文」が良かったと感じました。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

赤尾委員

私も「光文」が良いと思います。

道徳的心情ということはよく言われますね。気になったことは「東書」は、心情の部分に力点が置かれています。が、「光文」のほうは、もちろん豊かな心を基盤にしながらも考えることに力点が置かれています。ここだと思えるのです。順序立てて考える、比べて考える、つなげて考えるという形で、そのようなプロセスを通してやっているということであると思います。

ただ、少し気になったのは、「学研」には心のパスポートというものが出てきているということです。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

黒田委員

私も「光文」が気に入っています。

現在使っている教科書はおそらく「日文」と思いますが、別冊でノートがついていまして、私の子どもにも聞いてみましたが、道徳はやはり人の意見を聞くこと、みんなでディスカッションすることで、もともと読んでいて、自分の考えと全く違うものに文章が見えてくると子どもも言っていて、そう考えるとノートにまとめてしまうことが目的になってしまっていて、そこで終わってしまわないかと思っていて、文章を読んで、みんなでディスカッションして、「光文」の最後には、表情を描く部分などもあるのですが、そのようなもので表すことも自分の気持ちが感じられる機会になると思っていて「光文」が気に入っています。

岩元教育長

ほかに何かご意見、ご質問等ございますか。

山野委員。

それぞれ工夫されていますが、目的、学習指導要領もそうですが、いろいろ多角的、多面的に子どもたちが考えられるということが一番大事で、それを話し合ったり、自分の考えを書いたりして、心情、意欲、判断力から、そのような態度を少しずつ養っていくためには、本当に考えて話し合ったり書いたりすることが大変大事だと思っています。そのように思ったときに、「日文」も気づく、考える、深めるというところに力点を置いていました。「光文」も同じようになっていますが、「日文」と「光文」どちらがいいか迷ったときに、やはり道徳ノートは要らないと思いました。やはり子どもたちが自由に書いて、まとめ方を整理するアシストがあるほうが子どもたちも自分で友達の見聞を聞いたり、そこからまた自分の考えを膨らませたりするのではないかと考えましたので、その差で「光文」のほうがいいと思いました。

岩元教育長

「日文」の道徳ノートの話は、先ほどから出ていますけども、内容はほとんど白紙で、それぞれの教科書に対応するページということは分かるのですが、何も書かれていなくて、そこに学んだことを自分なりの考えを書き込むということで、別に教科書の別冊でなくてもいいのではないかと率直に感じました。

私も「光文」が一番いいと思っていますが、先ほど「保健」のところでも、ネットルールや、スマートフォンの話が充実していたということを申し上げましたが、やはりこの「道徳」におきましても、そのあたりが、他者と比べると非常にしっかり書き込みがされており、今の子どもたちの課題にしっかり対応しているということが言えるのではないかと思います。

また、言葉のキャッチボールという欄がそれぞれの学年にあります。相手が言った言葉に対していいボールで言葉を投げ返すという、日常的な言葉の会話の在り方のようなものを、子どもなりに学ぶという非常にいいアプローチをしていると感じたところですので、私は「光文」がいいと思いました。

岩元教育長

道徳につきましては、総合しますと、「光文」がより適切であると思われまので、「光文」を採択することに、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、「道徳」については「光文」を採択いたします。

以上をもちまして、全ての種目について採択いたしました。

なお、視覚障害がある児童の教科用図書についてですが、採択されました教科用図書と同一内容の「拡大教科書」及び「点字教科書」を必要に応じ、学校教育法附則第9条の規定による教科書、いわゆる「一般図書」として採択いたしますのでご了承ください。

それでは、確認のために各種目採択しました「教科用図書」の読み上げをいたします。

国語・・・・・・・・・・「東書」
書写・・・・・・・・・・「光村」
社会・・・・・・・・・・「日文」
地図・・・・・・・・・・「帝国」
算数・・・・・・・・・・「日文」
理科・・・・・・・・・・「啓林館」
生活・・・・・・・・・・「東書」
音楽・・・・・・・・・・「教芸」
図画工作・・・・・・・・「日文」
家庭・・・・・・・・・・「開隆堂」
保健・・・・・・・・・・「東書」
英語・・・・・・・・・・「東書」
道徳・・・・・・・・・・「光文」

岩元教育長

以上をもちまして、日程第5議案・第35号「令和6年度（2024年度）使用小学校用教科用図書の採択について」、審議を終了いたします。

続きまして、日程第6・議案第35号「教育長による臨時代理について」を議題といたします。

内容の説明をお願いします。

田上次長

議案第35号「教育長による臨時代理につきまして」、内容のご説明を申し上げます

す。

議案書の54ページ及び55ページをご覧ください。

本件は、先ほど採択されました小学校及び義務教育学校の前期課程教科用図書の令和7年度（2025年度）から令和9年度（2027年度）までの毎年度の採択を、「教育長に対する事務の委任等に関する規則第2条第2項」の規定に基づき、教育長が臨時に代理できるよう、ご提案するものでございます。

以上、ご審議の上、ご承認賜りますよう、お願いいたします。

岩元教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

（なしの声あり）

岩元教育長

それでは、特にご質問等ないようですので、日程第6・議案第35号「教育長による臨時代理について」、原案のとおり決定することにご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

岩元教育長

ご異議ございませんので、日程第6・議案第35号「教育長による臨時代理について」、原案のとおり決定することにいたします。

以上で、公開の会議は終わりました。

傍聴人の方はご退席をお願いいたします。